

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	814 教育集会所管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本 施策	38 互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	目	08	教育集会所費
		細目	448	教育集会所管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	教育集会所管理経費
担当部課	コード	450900		担当者 氏名
	名称	教育集会所八幡町教育集会所		
		連絡先	西堀 昌子 23 - 3157 (内線)	

**事務事業の概要(Plan)**

対象(誰を、何を)	集会所対象地区住民及び周辺地区住民	※対象件数
成果(どうする)	効果的な施設運営を展開する中で、中学生の仲間づくりとともに、人権問題が住民一人ひとりのものとなって人権意識が根付いていく。	
根拠法令・要綱等	伊賀市教育集会所条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	施設の維持管理と運営 教育集会所主事の設置	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	
2 配置人員	7人
3 年間運営費	2,085 千円
4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
教育集会所主事の設置		人	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1
施設の利用者数		人	目標	2000	目標	2000
			実績	2143	実績	2686

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
施設利用率		利用延べ日数/開館日数	%	目標	45	目標	45
				実績	49	実績	51
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	2,051	2,065	2,085	2,133				
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	2,051	2,065	2,085	2,133				
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)	3,491	3,505	3,525	3,573				

**事務事業の評価(Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
活動指標、成果指標ともに目標値を達成しており、今後も継続したい。		
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 繰越の種別 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○
既に最小限での運営となっており、今後も関係機関等とも連携を蜜にし、より多くの利用者を図ることにより、コストの低減に取り組みたい。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	住民要求の多様化に伴い、広範囲かつ専門的な知識も要求されるので、主事及び担当者のスキルアップが必要である。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/> 地域に密着した施設の管理運営、各種相談及び事業の実施に努めた。

**今後の方向性(Action)**

担当課長氏名	富岡 通郎
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> 【理由】 同和教育の推進、組織的活動の育成、支援を行う。
現時点における課題、その他	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	